

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 5月 15日

事業所名 児童サポートこころ

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|---------------|---------------------------------|---------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 0 | 0 | 活動を室内・庭に分けて行っている。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | 6 | 0 | 0 | | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | 2 | 0 | ・事業所全体的に、エスケープできないように柵が設置されている。 | 階段の手すり等を設置し、今後も環境整備に取り組んでいく。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | 0 | 0 | | PDCAサイクルを日頃から意識している。今後も継続していく。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | 0 | 0 | | 保護者の意向やご意見を職員で話しあい業務改善を行っていきます。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | 0 | | 事業所内で掲示している。現在、ホームページを作成依頼中。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 2 | 0 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 2 | 0 | | 今後も研修の参加を、全職員へ周知徹底していく。 |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 0 | | 適切にアセスメントを行い、他事業所とも幅広く情報が得られるよう連携している。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 0 | 0 | アセスメントツールを使用しています。 | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | 1 | 0 | | 児童が積極的に参加できるプログラムの作成にチームで行っている。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 3 | 3 | 0 | | 年間プログラムを作成し、固定化しないよう季節を取り入れた活動に力を入れている。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | 0 | 0 | | 月間・年間予定表にて課題整理を定期的に行い、課題の見直しを行っている。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 0 | | 個別活動と集団活動のニーズを把握し、組み合わせで作成している。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | 0 | 0 | | 毎日のミーティングにて昨日の振り返りを行い、当日利用児童に対してのアセスメントを行い、役割を決めている。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 0 | 0 | | 毎日、振り返りのミーティングを行い、その日の課題をその日で整理できる様にしている。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | 0 | | 電子システムを活用し、円滑に記録が行えるよう努めている。定期的に、記録の見直しを行っている。 |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | 2 | 0 | 毎日の、ミーティングの中で、関わり方について協議を行っている。 | 課題整理を行い、全職員にて計画の見直しを行っている。 | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 6 | 0 | 0 | | ガイドラインに沿った支援を行っている。 | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|---|---|----|---------------|-----|---|---|
| 関係機関 や保護者との 連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している | 6 | 0 | 0 | | ふさわしい方のみでの参加で、他の職員への伝達も並 行して行っている。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている | 6 | 0 | 0 | | 必要時に、学校を訪問し、関係性の構築を積極的に行 えている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている | 0 | 6 | 0 | | 現段階では、医療児がいないため、今後、必要時に関 係医療機関も含め調整していく。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている | 6 | 0 | 0 | | 積極的に、情報共有を行っており、今後も、継続してお こなっていく。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している | 6 | 0 | 0 | | 現段階で、障がい福祉サービスへの移行の方はいない が、職員研修にて、障がい者(18歳以上)のサービス について理解を深めている。今年度も、継続して勉強 会を行っていく。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている | 0 | 6 | 0 | | オンラインでの開催ではあったが、職員のスキルアップ も含め積極的に、今年度も参加していく。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある | 0 | 6 | 0 | | コロナ過で、集団活動の自粛を行っていた為、今年度 は、状況を見て開催を予定していく。地域の学童と小 人数での交流会を予定している。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している | 0 | 6 | 0 | | 今年度より、積極的に参加していく。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている | 5 | 1 | 0 | 毎日の、ミーティング の中で、関わり方 について協議を行っ ている。 | 保護者との関りを日頃、大切に行っているため、今後 も対応と継続していく。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている | 3 | 3 | 0 | | ペアトレに関しての理解を行い、今年度は、研修を行 いながら、親子参加型の活動を行う予定。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | 0 | | 個別支援会議の中で、定期的に聞き取りを行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる | 6 | 0 | 0 | | 利用児以外の事も、母親の悩みを聞けるよう全職員で 意識し、必要に応じて面談を行うようにしている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している | 0 | 6 | 0 | | コロナ過で集会を控えていた為、今年度は、積極的に 開催を行っていく。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している | 6 | 0 | 0 | | 現段階で、苦情はないが、ヒヤリハット等を完結的に、 報告を行い、苦情に繋がらないよう努力している。又、 送迎時や保護者との対応する際に、積極的に情報交 換を行えるよう全職員で対応を行っている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している | 6 | 0 | 0 | | 会報以外に、LINE等で活動内容や活動報告を行って おり、保護者と連携が取れるよう行っている。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | 0 | 0 | | 個人情報取扱いについてのマニュアルを周知し、今年 度は、勉強会を行う予定。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 0 | 0 | 毎日の、ミーティング の中で、関わり方 について協議を行っ ている。 | ミーティングの中で、日頃の対応について協議を行っ ている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 6 | 0 | | コロナ過で、地域との交流を控えていたため、今年度 は、地域交流を行っていく。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|----|--|----|---------------|-----|---------------------------------|--|
| 非常時等の 対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | 0 | 0 | スタッフ一人一人が理解できるよう作成している。 | 年に1回、緊急対応、防犯、マニュアルの見直しを行っている。感染症対応マニュアルに関しては協力医療機関と連携を行いながら、研修を開催している。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 0 | 0 | | 年に6回の避難訓練を実施している。今後は、応急処置訓練も研修課題として取り入れていく。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 0 | 0 | ミーティングの中で、質問形式でスタッフへ聞き取りを行っている。 | 今年度も同様に、研修を行っていく。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | 0 | 0 | | 現段階では、身体拘束を行う児童はいないが、身体拘束の研修を行い、職員の意識、知識の周知に力を入れている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 0 | 6 | 0 | | 現段階では、食物アレルギーの児童はいないが、病院と連携し研修会を開催していく。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 0 | 0 | スタッフ一人一人が理解できるよう作成している。 | 今年度も同様に、研修を行っていく。 |